

## ベンチトップ FT-IR 赤外分光光度計

製造元	Thermo Fisher Scientific
仕様	Nicolet iS50 (DLaTGS 検出器 and MCT 検出器)、ダイヤモンド ATR、ラマンモジュール (1064 nm レーザーラマン) 換装可
保有部署	化学系コアラボ (分子工学専攻)
設置場所	桂・A2 棟・B1 階 006 号室
利用期間・時間、 利用料金	本設備の共同利用規程を参照 <a href="https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/research/yui/naiki/sg65gg/">https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/research/yui/naiki/sg65gg/</a>
注意事項等	利用者自身による測定のみ。レーザーラマン利用の場合は事前講習が必要。
連絡先	分子工学専攻今堀研究室 075-383-2567 <a href="mailto:t-higa@scl.kyoto-u.ac.jp">t-higa@scl.kyoto-u.ac.jp</a>
キーワード	材料分析、ラマン分光、有機材料
機器コード	(0000115001)
自由記入欄	本装置では、FT-IR と FT-ラマンをあわせた包括的な振動分光分析が可能です。DLaTGS 検出器に加え、液体窒素冷却型 MCT-A 検出器も備えており、弱い IR 光を高感度で検出することもできます。また高い波数分解能 (最高 0.09 $\text{cm}^{-1}$ ) を実現し、ダイヤモンド ATR アクセサリを用いて様々な試料の測定を容易に行うことができます。さらに、ラマンモジュールはビームスプリッタに $\text{CaF}_2$ (13500-1200 $\text{cm}^{-1}$ )、蛍光の影響を受けにくい 1064 nm ダイオードレーザを採用しています。

